



TITLE:

編集後記 (泌尿器科紀要 第48巻第
11号)

AUTHOR(S):

CITATION:

編集後記 (泌尿器科紀要 第48巻第11号). 泌尿器科紀要 2002, 48(11): 734-734

ISSUE DATE:

2002-11

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/114848>

RIGHT:

4. 論文の訂正：査読審査の結果、原稿の訂正を求められた場合は、40日以内に、訂正された原稿に訂正点を明示した手紙をつけて、前記泌尿器科紀要刊行会宛て送付すること、なお、Editor の責任において一部字句の訂正をすることがある。
5. 校正：校正は著者による責任校正とする。著者複数の場合は校正責任者を投稿時指定する。
6. 掲載：論文の掲載は採用順を原則とする。迅速掲載を希望するときは投稿時にその旨申し出ること。
 - (1) 掲載料は1頁につき和文は5,500円、英文は6,500円、超過頁は1頁につき7,000円、写真の製版代、凸版、トレース代、別冊、送料などは別に実費を申し受ける。
 - (2) 迅速掲載には迅速掲載料を要する。5頁以内は30,000円、6頁以上は1頁毎に10,000円を加算した額を申し受ける。
 - (3) 薬剤の効果、測定試薬の成績、治療機器の使用などに関する治験論文および学会抄録については、掲載料を別途に申し受ける。
7. 別冊：実費負担とし、著者校正時に部数を指定する。

Information for Authors Submitting Papers in English

1. Manuscripts, tables and figures must be submitted in three copies. Manuscripts should be typed double-spaced with wide margins on 8.5 by 11 inch paper. The text of all regular manuscripts should not exceed 12 typewritten pages, and that of a case report 6 pages. The abstract should not exceed 250 words and should contain no abbreviations.
2. The first page should contain the title, full names and affiliations of the authors, key words (no more than 5 words), and a running title consisting of the first author and two words.
e.g.: Yamada, et al.: Prostatic cancer · PSAP
3. The list of references should include only those publications which are cited in the text. References should not exceed 30 readily available citations. Reference should be in the form of superscript numerals and should not be arranged alphabetically.
4. The title, the names and affiliations of the authors, the director's name, and an abstract should be provided in Japanese.
5. For further details, refer to a recent journal.

編 集 後 記

3カ月前、病院の研修担当の教授から「某テレビ局が研修医に関するドキュメンタリー番組を企画しているので、泌尿器科教室の研修医を取材させてほしい。」という依頼があった。卒後臨床研修必修化の行方に興味をもっていたこともあって「喜んで協力します」と答えたが、われわれが研修医の教育に真摯に取り組んでいるという姿を見てもらいたいという気持ちも大きかった。取材は私と2名の講師がSIUへの出張中に行われ、5名の研修医には昼夜を問わず1週間カメラが回り続けた。

先日、関西系のテレビで放映されたが、研修医の過労死の問題を前面に出しながら、苦悩する日本の研修医の姿を描くという比較的良好な番組に仕上がっていた（欲を言うと、指導医の重要性をもう少し強調してほしかった）。すでに平成16年卒業予定の学生が臨床実習に回り始めているが、まだ政府の方針は決まっていない。国民の健康という国家としての最重要事項にはこの際思い切った手当を考えてほしい。

放映日時が決まったと聞いた時、どのような番組になっているのかがにわかに心配になった。われわれの真意が変にゆがめられて報道されたなら取り返しがつかない。内容を事前に見せてもらうようお願いしてみたが、「出来ない。」と断われた。その代わり、台本のようなシナリオを見せてもらい、少しコメントの修正をお願いした。研修医や学生との懇親会でもカメラは回っており、SIU留守番の助教授は、「スーパーローテートなんて意味無いですよ。」と赤い顔で訴えていた。私は出張中で運が良かった。酒を飲んで教育を語ると何を言い出すかわからないからである。

(小川 修)

泌尿器科紀要 第48巻 第11号 2002年11月25日 印刷 2002年11月30日 発行
 発行 小川 修 顧問 吉田 修 発行所 泌尿器科紀要刊行会
 〒606-8392 京都市左京区聖護院山王町18 メタボ岡崎301号 電話 (075) 752-0100
 FAX (075) 752-0190

http://web.kyoto-inet.or.jp/people/acta_uro/index.html
 印刷所 山代印刷株式会社 京都市上京区寺之内通小川西入
